


|          |          |                               |
|----------|----------|-------------------------------|
| 提出<br>順番 | No.<br>9 | 平成30年 6月 4日<br>午前・午後 11 時 55分 |
|----------|----------|-------------------------------|

平成 30 年 6 月 4 日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 中 橋 友 子 

# 一般質問通告書

次のとおり通告します。

| 質 問 事 項                       | 質 問 の 要 旨  |
|-------------------------------|--|
| <p>1 「子どもの権利条例」を町民みんなのものに</p> | <p>子どもは、家族はもとより地域の宝であり、未来への希望となる大切な存在です。</p> <p>しかし、全国的に児童虐待や、いじめ・体罰など、子どもが被害者になる残念な事件が後を絶ちません。要因は様々ですが、子どもの人権を尊重し、安心して生きられる環境づくりが今こそ求められています。</p> <p>幕別町では平成 22 年、「子どもの権利に関する条例」を制定し、「安心して生きる権利」、「自分らしく生きる権利」、「豊かに育つ権利」、「主体的に参加する権利」を謳い、子どもの健やかな育ちを支援し、子どものしあわせなまちの実現を図ることを決めました。全道で 5 番目に制定され、先進的な取組であり、来年は 10 年目を迎えます。町民への周知や、条例を日常に生かした政策の推進を求め、以下について伺います。</p> <p>① 子どもの権利条例に沿ったこれまでの取組と、今後の計画は。</p> <p>② 町民への周知、学習講演会等の実施で啓蒙を。</p> |
| <p>2 ゆとりある学校教育の推進を</p>        | <p>子どもの健やかな成長のために、学校教育の役割は大きく、高く期待されています。特に一人ひとりの子どもに向き合い、ゆとりを持った教育が望まれています。教員の多忙化は「過労死ライン」を超える実態もあり、ゆとりを持てる現状にはありません。2015 年の全国教員アンケートの結果、教育改革に臨むことの第 1 位は、「学級定員の少人</p>  |

| 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨   |
|---------|---|
|         | <p>数化」で、小学校教員の81.3%、中学校教員の74.3%に上っています。部活動の負担も大きく、ようやく北海道も文科省の方針のもとに、学校における働き方改革「北海道アクション・プラン」を提案しました。</p> <p>現状を少しでも解決するため、次の点を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 児童生徒の減少期に合わせ、町独自の少人数学級の計画を。</li> <li>② 今後の児童・生徒数の推移は。</li> <li>③ 30人以下学級に必要な教員数や必要予算は。</li> <li>④ 他県に比べ遅れている少人数学級の取組について、北海道に早期実施の要請を。</li> <li>⑤ 道教委の働き方改革提案に基づく対応と、特に部活動休養日の実施について。</li> </ol> |

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。